

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

## 【事例概要について】

● ●

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	林野火災防ぎよ活動時における、上り坂走行中でのポンプ車とホースカーとの挟まれ危険
3. 体験した事例の中心的因素	山林の頂上に向かって機関員は、ポンプ車を運用していた。隊長に、止まれと言われたので、止まっていた。その後、前進と言われたので、発進しようとしたが、坂道だったので、少し後方に下がった。 車両後方では、ホース延長するため、ポンプ車に一旦止まってもらい、ホースカーを降ろしたのち、隊員1名が、その場で絡車からホースを取り出していたところ、ポンプ車が下がってきた。周りの隊員からの大きな声で、危険を知らされ、危険を回避することができた。
4. 体験した事例の原因・理由	機関員とホース延長隊員との意思不統一 機関員は、車両後方で隊員が何をしようとしているのか知らなかつた。 ホース延長隊員は、機関員が、自分たちが何をしようとしているのかを知っていると思い込んでいた。

## 【体験した事例の直接的原因について】

● ●

1. 体験した事例の直接的な原因	情報入力に問題があった。行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------------------

## 【体験した事例について】

● ●

1. 発生日時	平成 21 年 5 月 11 日 午前 10 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：山林道
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させた。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか (起きそうになったのか)	
7. 事例体験時の活動	火災現場活動初期、 [ 林野 ]
8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか	ホース延長、
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

## 10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[26]歳、 勤続年数[4]年、 現場経験年数[4]年、 階級[ 消防士 ]、 同様の活動 [ 初めて ]、 任務 [ 機関員 ]
○当事者B	年齢[49]歳、 勤続年数[30]年、 現場経験年数[30]年、 階級[ 消防司令補 ]、 同様の活動 [ 初めて ]、 任務 [ 車長 ]
○当事者C	年齢[46]歳、 勤続年数[27]年、 現場経験年数[27]年、 階級[ 消防士長 ]、 同様の活動 [ 初めて ]、 任務 [ 車長 ]
その他 (当事者が4人以上の場合)	

## 11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	Aが	ポンプ車を運転し、 上り坂道を走行していた	
経過2	B、Cは	林道が狭路だったので、 下車し、車両誘導していた	
経過3	Bは	ホースカーを降ろすため、 Cに停車するよう指示した	
経過4	Cは	停車するようにAに指示した	
経過5	Bは	ホースカーを降ろし、 ホースを取り出していた	
経過6	Cは	Bから、前進してもいいと言われたので Aに走行指示した	
経過7	Aは	発進させたが、 坂道だったので少し後退した	
経過8	Bは	車両が後退しているのを 知らずに活動していた	
経過9	周囲の隊員が	機関員に、挟まれ危険を知らせた	
経過10	Aは	緊急停止した	

## 【その事例発生時の状況について】

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

指揮者が適切に指示した。他隊(員)から適切な注意を受けた。

## ○心理・体調について

### a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・ 活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・ 活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・ 活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・ 体調が悪かった。	いいえ
・ 悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・ 装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・ 装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・ 装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・ 必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・ 障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・ 特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・ 狹隘な場所であった。	はい
・ 暑かった（寒かった）。	いいえ
・ 野次馬が多かった。	いいえ
・ 現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・ 足元が躊躇したり滑りやすかった。	いいえ
・ 足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・ 活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・ 指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・ 指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・ 隊員の連携が不十分だった。	はい
・ 隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ
-----

○ヒヤリハット事例：林野火災防ぎよ活動時における、上り坂走行中でのポンプ車とホースカーとに挟まれそうになった事例（同様の体験は、初めて体験した。）

(09H0067)

・発生日時：平成21年5月11日 午前10時頃

経過	現場の状況	隊員A(機関員) ・隊員／消防士 ・年齢 26 歳 ・勤続 4 年 ・現場 4 年 ・同様の活動:初めて	隊員B(車長) ・隊員／消防司令補 ・年齢 49 歳 ・勤続 30 年 ・現場 30 年 ・同様の活動:初めて	隊員(車長) ・隊員／消防士長 ・年齢 46 歳 ・勤続 27 年 ・現場 27 年 ・同様の活動:初めて	備考
出動指令	出動指令				林野火災の消火活動に出動
出動途上	林道が狭隘になる		現場出動途上	ポンプ車を運転し、登り坂道を走行	
現場到着	車両停車	車両を発進させる	下車し、車両誘導を開始	ホースカーを降ろすため、隊員Cに停車させるよう指示	隊員Aに停車を指示
活動初期	坂道のため車両が少し後退する	車両を緊急停車させる	車両が後退していることに気づかず、車両後方で活動を継続	車両が後退していることに気づかず、車両後方で活動を継続	隊員Bが車両とホースカーに挟まれる危険性に気づき、隊員Aに知らせる

◎ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

- 直接的な原因:情報入力に問題があった。行動の意志決定に問題があった。  
・指揮者が適切に指示した。  
・他隊(員)から適切な注意を受けた。

#### ◎ヒヤリハットが起きた背後要因

- (心臓・体調について)

  - ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。
  - ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。
  - ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。

(活動環境について)

  - ・狭隘な場所であった。

(指揮・管理について)

  - ・隊員の連携が不十分だった。